

学びの創造

4年間センター長を務められた石黒純一教授（生活者科学講座）に代わり、武田篤教授（障害児教育講座）が新センター長として着任されました。また、新たに4名のスタッフが加わり、センターは総勢15名という構成となりました。センターは今後とも大学と教育現場を「つなぐ」役割を果たしていきたいと考えています。

★ 新センター長挨拶

この春から附属教育実践研究支援センター長を兼務することとなりました。皆さまよろしくお願いたします。

ご存知のように、当センターは【学校教育研究部門】【教師発達研究部門】【教育臨床研究部門】の三部門体制で、県内の教育関係者を対象にニーズの高いテーマで「秋田大学教育実践セミナー」を開催し、また地域の学校が抱える諸問題の解決をお手伝いする「学校コンサルテーション」、さらに「臨床心理相談室」では心理・教育的な問題を抱えるお子さんやその保護者・教師への支援にあたっております。加えて本年度は、2つの文部科学省特別経費プロジェクトである「まなびの総合エリア」と「教員養成秋田モデル」が当センターを中心に展開されております。実践力のある質の高い教員の養成をめざし、学部と共に努力する所存ですので、今後とも当センターへのご理解とご支援をよろしくお願いたします。

武 田 篤

★ センターのメンバーが4名増えました！

佐藤光咲 特任教授：

これまでの小・中学校や教育研究機関での経験を生かし、新プロジェクトの充実に取り組んでまいります。

茂木達彦 特任教授：

本年3月、大曲小学校で定年退職しました。新しい任務に貢献できるよう努力します。よろしくお願いたします。



（左から）茂木先生、佐藤先生、鈴木さん、八柳先生

八柳久夫 特任教授：

小学校教育一筋の人生でした。特に、算数の楽しさを子どもたちに味わわせることを中心に取り組んできました。

鈴木亜由子 事務員：

新プロジェクトの事務を担当させていただきます。不慣れな点多々ありますが、努力してまいりますのでよろしくお願いたします。

★ センターの事務室が引っ越しました

5号館およびセンターの改修のため、センターの事務室が1号館107研究室に移転しました。これに伴い、これまで貸し出してきた機材やサービスが一次出来ない場合があります。改修が終わる11月末（予定）からは、通常のサービスを提供いたしますので、どうかご了承下さい。